平成 30 年 9 月 2 日

平成 30 年度　奈良三田会　家族会　報告

家族会幹事　日垣智樹（S57 年法）
日垣晶子（S60 年経）

- 日時：平成 30 年 8 月 26 日（日）

- 行先：奈良県吉野郡川上村　－吉野川・紀の川の源流「水が生まれる場所」－
  1. 匠の聚
  2. 杉の湯（昼食）
  3. 森と水の源流館
  4. 蜻蛉の滝

- 参加者数　24 名

◇残暑厳しい快晴の日曜日、JR 奈良駅、近鉄奈良駅そして近鉄八木駅で参加者全員が貸し切りバスに乗車し、予定通り8時 30 分に出発。

家族会幹事の日垣智樹（S57 法）、日垣晶子（S60 経）、日垣博考（環境・院2年）から本日の行程等を「枝折」と川上村の資料で説明。

平越会長（S47 法）から歓迎のご挨拶を頂く。そして幹事を陰ながら支援して頂く山縣幸典（H26 商）君が新車のバスや行程の注意事項の説明を行った。

そして早速、バス内で「ビンゴゲーム」を挙行。幹事が準備したカードではなくなんとバスに標準装備されている TV 画面で開始。ビンゴ完成1番手は、成田圭穂（9 歳）さん。賞品は、日吉の学生生協で購入した「KEIO　GOODS」。全員が完成するまで行ったがなかなか完成しない先輩が数人おられ、意外と時間がかかった。そうしている間に

1．9:40　山の高台にある「匠の聚」（たくみのむら）に到着。

□　陶芸・七宝焼・木工の各教室に分かれて、講師の指導を受けながら約 2 時間受講・工作を行った。

➢　陶芸

〇参加者（敬称略）：粟根（S39 政）・服部（S41 経）・倉本（S44 文）・平越（S47 法）・大浦（S53 法）・北（S53 経）・米田（S57 政）＆奥様・日垣智樹　　計　9 名

〇　2回（個）作成　1回目は、講師が丁寧に指導し、2回目は自らの努力で工作、 電動ロクロから展示板の上に移す作業が意外と難易度が高いと感じた。
完成は、焼いて2か月後。

➢　七宝焼（世界で一つにｵﾘｼﾞﾅﾙｱｸｾｻﾘｰ）

〇参加者　服部令夫人・平越真澄（S47 文）、日垣晶子・成田令夫人・成田圭穂（9 歳）・成田昌穂（5 歳）・中川（H22 文）、平越令夫人・平越愛莉（4 歳）・山縣　（H26 商）
計　10 名

- 木工（ピンボール）

  〇参加者　成田（H3 商）・成田丞総3歳の親子、　平越（H13 商）・平越國宏2歳の親子

  計　4名

  最初は、親子で熱心に工作してされていたが、後半は父親が一生懸命工作して、見事に完成。

2．講師を交えて集合写真を撮影して12：00に匠の聚を出発して12：15分ごろに昼食場所の杉の湯に到着。2階の宴会場において、祝電を2通（S41 工卒奥野衆議院議員、S63 法卒小林衆議院議員）を披露した後、倉本前会長の乾杯のご発声で乾杯して昼食。杉の湯の支配人からご挨拶と日本酒3本の差し入れを頂戴した。料理は、レストラン矢吹の大和定食をベースに焼き肉の陶板焼きとデザートのアイスクリーム付きにかなりお願いして特別の献立にして頂きました。

3．13：00に杉の湯を出発して、5分ほどで「森と水の源流館」に到着。
源流館の女性の方に丁寧に次の説明をして頂いた。

- 2F：「源流をめざして」

  ① 紀の川の終わりの和歌山市から吉野川がはじまる川上村まで、そこに住む生き物の違いを大型水槽で川をさかのぼるように紹介して頂いた。

  ② 縄文時代に営まれてきた自然と共生するくらしから、林業の発祥と発展を経て「樹と水と人の共生」に取り組む現在の川上村に至るまでの、時空を超えて紹介された。

- 2F：「源流の森シアター」

  10M を超える巨木が立ち並び、谷筋から水が湧き出す源流の森の姿をそのまま再現していた。四季を通して変化する森の美しさや神秘的な自然現象、色々な生き物の様子を巨大パノラマ映像で体験し、かけがいのない源流の森が伝えるメッセージを身体全体で感じ取れた。

- 3F:「フィールドをめぐる」では、自然と共生する川上村の紹介を川上村劇場などで見学した。

4　見学を終え、集合写真を撮って14:00に出発。約 10 分程で「あきつの小野スポーツ公園を抜けて「蜻蛉の滝」の駐車場に到着。
5 分程山道を上ると水量の多い、落差 50M で迫力満点の「やまとの水」に選ばれた「蜻蛉の滝」を見学し、マイナスイオンを満喫した。

- 14:30頃に出発し、道の駅「大淀ｉセンター」で休憩し、少し早めに近鉄八木駅、近鉄奈良駅でそれぞれ降車し解散した。

森と水の源流館